

令和3年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月30日

放課後デイサービスひだまりα

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			その日のご利用人数に応じて、αスペース外も利用し余裕をもって活動できるようにしていますが、今後さらに改善をしていきたいと考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			厚生労働省の人員配置基準を満たし、尚且つその日のご利用人数に応じてスタッフを配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月末のスタッフミーティングにて、活動内容・支援内容の振り返りを行い、よりよい支援や業務改善へ繋がるよう努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、評価表を用いてアンケートを実施し、保護者の方からのご意見や要望をもとに、検討・改善を行っています。また、必要に応じて、ほかのアンケートにもご協力いただき、意向の把握に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所における自己評価表、保護者等による評価表ともに、保護者のみなさまに配布し、HPでも公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は実施しておりません。が、実習生やボランティアの方を受け入れ意見を伺っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			救命救急講習や虐待防止研修は、毎年行っています。児童部門全体で、日々の支援に関する研修会を、また毎月のスタッフミーティングでミニ研修会を行いました。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回の個別面談の際にニーズや課題を伺い、放課後等デイサービスとしてできること支援方法等を保護者の方と一緒に考え、計画に反映し作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			写真や絵カードを使用したり、学校・ご家庭と共通のサインや手話を個別に取り入れて支援を行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数のスタッフで月1回活動ミーティングを行い、立案・計画を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月末のスタッフミーティングで活動の振り返りを行い、改善と工夫を行うことで、固定化せず楽しめるよう努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時は、放課後の時間ではゆとりを取り組むことがむずかしい身体のケアや外出（散歩）、調理活動等を行いました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			身体のことやスモールステップ等の個別目標と、集団活動で体験できる目標を組み合わせ計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	毎日決まった時間を設けてはいませんが、変更や注意事項、保護者からの連絡事項等があれば、送迎出発前に周知しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	毎日決まった時間は設けていませんが、課題や連絡事項、気付き等があった時は、時間を取って話し合いを行っています。また、申し送り事項があれば個別ファイルに記入し、全スタッフが把握できるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳や個別ファイルに、支援内容・活動の様子を記入し、定期的に振り返りを行うことで支援の検証・改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別面談に向けて、スタッフでモニタリングを行い、個々の成長に合わせて計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			週替わりの集団活動（創作活動・余暇等）と、個別目標に沿った支援を組み合わせ活動・支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事業所を代表して、管理者・児童発達支援管理責任者、また必要に応じて看護師も参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			昨年度に引き続き、コロナのため事業所連絡会も学校公開も見送られましたが、送迎時やメール・紙面にて情報を共有、確認しました。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		主治医に、医療的ケア・緊急時対応について指示書をいただいています。また、ぶるーむの風診療所とも連携し、何かあった時は診察や相談を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所への訪問や情報提供をお願いしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービス事業所へ情報提供を行い、また事業所員や相談支援員による見学も受けています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	直接連携する機会はありませんでしたが、子ども部会等から情報を共有しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナのため機会はありませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		子ども部会事業担当者会議に管理者が参加しています。今年度もzoomにて参加しました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日のお迎え時に、当日の様子や体調などをお伝えし、またご家庭の様子等を伺うことで共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		今年度も「J」について研修会を行いました。今後は、違う内容の研修会も開催したいです。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		新規契約時、その後は必要に応じて随時説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		お迎え時に直接お話しさせていただくことで、日常の些細な悩みから困りごとなどを気軽に相談していただける環境と関係を築けるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は、対面とzoomの同時開催としました。参加者が少なく保護者同士の交流・連携の機会とはなりづらかったため、来年度以降、開催方法、日時、内容等検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見箱の設置、苦情受付窓口（管理者）の案内をしています。また、アンケートにて改善点を伺うようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の活動予定や様子を、通信にて配布しています。ホームページ内のブログでも活動の様子を紹介しています。また、グループコミュニケーションアプリ「BAND」を導入し、速やかに情報や伝達事項をお伝えできるようにしました。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		関係機関との情報共有、通信等への写真掲載に関する同意書を交わし、必要以上の情報共有のないよう、個人情報の保護に努めています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		一人ひとりに合わせた意思疎通方法等を伺い、コミュニケーションを取るよう努めています。気付き等があれば、お迎え時に保護者の方へお伝えしています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今年度もコロナのため開催できませんでしたが、法人として年1回「笑福祭」を開催し、利用者様や地域住民の方を招き事業所の様子を公開しています。また「ぶるーむカフェ」で地域の方と接する機会を設けています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応については、定期的に保護者の方に確認を取り作成、訂正を行っています。隔月のリスク管理委員会にて、感染症マニュアル等の見直しや検討を行い、職員や保護者の方に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今年度も、法人全体での消防による避難訓練は見送られましたが、事業所内で定期的に、地震・火災のそれぞれを想定した避難訓練を実施しました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		県の虐待防止・権利擁護研修の伝達研修を毎年行い、日々の支援を振り返る機会としています。また、気になることや疑問に思うことがあれば、スタッフミーティング内で取り上げ話し合うよう努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		安全のため、やむを得ない場合の身体拘束については、保護者の方と話をした上で、必要な場合には個別支援計画に記載し同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無は保護者から必ず確認し、緊急時対応がある場合は医師から指示書をいただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		改善内容、経過報告を含むヒヤリハット報告書を作成し、リスク管理委員会にて検証、法人全体への周知を行っています。その内容を、スタッフミーティングで共有し、意見交換を行い再発防止に努めています。